

# 奈良絵本・絵巻・肖像画 — 画像学へのアプローチ —

◇ 開催日時：2021年2月27日（土）

14時より（日本時間）

◇ 開催方式：Zoom ミーティング

14:00	開会の辞	
14:15～15:15	黒田智	絵画史料の読み方—肖像画の髭と年齢
15:15～16:15	石川透	奈良絵本・絵巻の研究とその影響
16:15～16:30	休憩	
16:30～17:15	質疑討論	
17:15	閉会の辞	

コーディネーター：齋藤真麻理・張龍妹

## 黒田智（くろだ・さとし）

金沢大学人間社会研究域教授。専門は中近世日本史、歴史画像学、環境史。近年は水災表象等にも関心を持ち、文学・美術史等の領域を越えた幅広い知見から、多様な業績を公刊している。鹿島美術財団優秀者(2008年5月)。

- ・『中世肖像の文化史』ペリカン社、2007年
- ・『なぜ対馬は円く描かれたのか』朝日選書、2009年
- ・『藤原鎌足、時空をかける』吉川弘文館、2011年
- ・『天皇の美術史 3 乱世の王権と美術戦略』共著 吉川弘文館、2017年



## 石川透（いしかわ・とおる）

慶應義塾大学文学部教授。専門は日本古典文学。奈良絵本研究の第一人者として知られ、詞書の筆跡鑑定から、その制作と享受の実態解明に迫る。2003年より、奈良絵本・絵巻国際会議を年1回主催。編著書多数。日本古典文学会賞受賞（1993年6月）。

- ・『室町物語と古注釈』三弥井書店、2002年
- ・『奈良絵本・絵巻の展開』三弥井書店、2009年
- ・『入門 奈良絵本・絵巻』思文閣出版、2010年
- ・新天理図書館善本叢書『奈良絵本集』八木書店、2018年～2020年



主催：国文学研究資料館・北京外国語大学日本語学院・北京日本学研究中心